

横浜市長選一カジノとコロナから市民を守る問い合わせ50万票vs32万票 大阪万博・IR(カジノ、統合型リゾート)再検討を

8月22日投開票の横浜市長選挙。370万人の大都市、現職の林文子市長に自民党横浜市連が立候補しないように要請したが断られ、カジノIR誘致に突如反対する小此木、国家公安委員長を擁立。立憲推薦の大学教授、山中竹春氏、松沢元神奈川県知事、田中康夫氏、など8人が立候補する史上最大の混戦となった。結果は山中氏506,392票vs小此木氏325,947票と大差となり各方面に衝撃が走った。

実は半年前、野党と市民グループが呼びかけたIR誘致の住民投票条例の署名が法定数の3倍を超える19万人以上が集まっていた。自民、公明で否決はされたものの、市民の関心は急速に高まった。ハマのドンと呼ばれる港運協会の前会長藤木氏がカジノ反対を表明、小此木氏が反対に回る要因になった。

さらにカジノ事業者も、ラスベガスサンズが昨年5月撤退。今年1月ウインリゾーツ断念。5月の公募では、ゲンティン・シンガポールとマカオのメリコリゾーツの2グループが審査を通過。オンラインカジノに業界がシフトする中、インバウンド依存のIRの誘致そのものが問われている。

大阪市会では松崎とある市会議員が建設港湾委員会で「立ち止まって考えよう夢洲開発」の質問をされている。明らかになつたことは、夢洲埋立ての費用にIR事業者から202億5千万円の負担金と万博後の賃借料209億8千万円が見込まれており、港湾特別会計の収支計画に入っている点だ。また地下鉄の延伸もあり、大阪市の負担も202億円とされる。万博会場の埋立事業は、カジノIRが跡地を利用しないと大阪市港湾会計が破綻するという信じられないスキーム。MGMOリックグループか動き出そうとしているが、横浜市民の選択をよく考える時である。



横浜市長選挙	
■ 山 中 竹 春 氏(自・新)	506,392票
■ 小此木八郎 氏(56・無・新)	325,947票
■ 林 文 子 氏(自・無・新)	196,926票
■ 田 中 康 夫 氏(65・無・新)	194,713票
■ 松 沢 成 文 氏(63・無・新)	162,206票
■ 福 田 峰 之 氏(57・無・新)	62,455票
■ 太 田 正 孝 氏(75・無・新)	39,802票
■ 塚 倉 良 和 氏(70・無・新)	19,113票

自治フォーラムブログ <http://lgforumsakaseesa.net/article/477259672.html>

武田みどりさん現場教員のエンパワーメントのためのプラットフォームを呼びかけ
1000万円のクラウドファンディングにご協力お願いします!

<https://camp-fire.jp/projects/view/461050>



教育開発研究所から出版されました! 1800円+税

GIO NEWS

No.10 2021年夏季号 発行／一般財団法人ジオ政策研究所 発行人：西脇 邦雄 www.gioweb.org
事務局 〒544-0015 大阪市生野区巽南3-7-30 TEL06-6757-9203 FAX06-6752-3391

GIO PUBLIC POLICY RESEARCH INSTITUTE

夏季号 2021.8

GIO NEWS

ジオ政策研究所ニュース
www.gioweb.org

No.
10

緊急事態宣言が続く中、いかがお過ごしでしょうか。

当財團は、二〇二一年七月、十六年間の大阪府議会の議員活動を支えていたいた皆様によりかけ、設立をいたしました。定款では、理念に「民の力」と「新しい公共」を掲げ、未来にむけた政策づくり、地方自治体の国際協力をテーマに活動を続けています。

準備段階では、元ディグレ代表小林竹廣さん(二〇一八年逝去)の助言をいただき、設立パーティには、民主党政権の官房長官を務められた仙石由人衆議院議員(二〇一八年逝去)に花を添えていただきました。今は亡きお一人とともに、設立当初からご支援いただいた多くの皆様にあらためて御礼申し上げます。

スペイン風邪の教訓
思い起こせば、設立の年は、東日本大震災に衝撃を受けるとともに、なでしこジャパンが世界制覇を成し遂げた年です。復興十年の節目に、新型コロナ感染のパンデミックが世界を襲いました。天王寺の心寺アベイン風邪で命を落とした方々を慰める碑がありますが、大阪金城で四十七万人が感染し、二万五千人が命を落としたとの記録があります。日本全体で約四十万人が死亡)当時、ウイルスは見殺されていませんが、新型インフルエンザN1H1型が原因でした。このパンデミックは、第二次世界大戦の終結を早め、ルーズベルト大統領も罹患するなど指導者の命運も左右します。

また、大阪では生活困窮に陥る家庭が増加、方面委員制度、現在の民生委員、感染症専門の桃山市民病院現在、大阪市立総合医療センターなど、地域福祉や公衆衛生へ力が注がれることになりました。今回も、コロナ後の世界、アフター「コロナ」の世界は、大きく変わる。また、変わらなければならないとの議論があります。

コロナ後の世界を模索する
Yahoo!株式会社CSOの安宅和人氏は、「開拓化を提案。高層ビルに象徴される都市の集積から、郊外にリモートワーク付き住宅の需要が生まれ、分散型の都市がモデルになると指摘します。建築家の隈研吾氏も、「密閉された箱の建築から脱却する必要」との意見です。都市の集積を前提とする私たち社会の在り方は、大きな岐路に立っています。また、経済思想家斎藤幸平氏(大阪市立大学経済学研究科准教授)は、「人新生の資本論」で、「体あどぢるくらい経済成長すれば人々は豊かなものだらうか?」という根源的な問いを立てています。これがウエーデンの環境活動家グレタ・トゥーンペリに代表される世界的ジオレーシヨン(九九〇年代中盤以降に生まれた世代といわれる若者たちの問い合わせです。政治に関わる者だけでなく、全ての大人が答えを探す必要があります。」

二〇二〇年社会を分断してきたトランプ大統領が敗北。学費ロード撤廃やBLM(ブラックライブズマター)運動と連携してきたバーチャンダースの支持者も反トランプで結果劇的にアメリカは変わりました。また、EUではスペイン、バルセロナのアダウ・クラウ市長に象徴される市民自治ミヨン・パリズム(municipalism)が国境を超えて自立する市民と都市の協働を作り出しています。

ウイズコロナ社会の息苦しさの中を生きづらさ、世界を展望する。今後も皆さんと共に新しい思考の芽を見つけて発信し続けたと考えます。

フライデーナイト・セミナー予告!

12月3日(金) 開場18:30開場 講演18:30~(予定)

会場:たかがガーデン 対面(人数限定)+オンラインにて実施

待望の斎藤幸平さん講演会

「新型コロナと地球環境危機
—これからの社会運動を考えるパート2」仮題



30万部を突破した「人新生の資本論」の著者、斎藤幸平さん／経済思想家、大阪市立大学経済研究科准教授の第2回の講演会を企画します。SDGsは大衆のアヘンであるとの刺激的な書き出しへはじまる著書。永遠の成長を続ける人類の経済活動が地球を破壊する「人新生の時代」これを阻止するには資本主義の限界を利潤追求を止めなければならないが、資本主義を捨てて文明に築宗はあるのか? 地球や土地、水、資源をコモンズとして、市民の手に取り戻すところあります。

自治フォーラム(代表、武直樹市会議員)
自治体政策研究会 共催

JGREEN堺10周年記念誌が刊行

2010年4月の開設を経て10周年。永藤堺市長と田嶋日本サッカー協会会長の対談も掲載し、10年の歩みをまとめた記念誌が刊行されました。

西脇も当初の予測を逆に大幅に上回る試合の誘致、集客ができた要因を分析する論考を投稿させていただきました。

<http://www.gioweb.org>に掲載

天然芝フィールド5面、人工芝11面(うち1面は400mト ラック)、フットサル8面、総工費約64.6億円。大阪府サッカー協会、運営会社のJVで堺市から指定管理者として委託を受けて運営。年間8000試合、入場者数80万人突破、公設民営のモデル的なスポーツ施設として全国的にも注目される成果が上がっています。昨年からは新型コロナで大きな制約を受けていますが、ユース以下の年代の育成拠点として、そして、東南アジアサッカーの交流拠点として発展を期待しています。



2020年藤綱会長 梶川東務 西洞院理事の皆さま

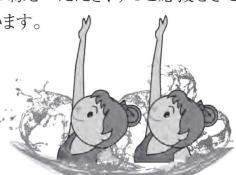
井村 雅代 先生—アーティスティックスイミング

永年のご苦労お疲れ様でした



井村先生 お疲れ様でした。

惜しくもチーム4位に終わったアーティスティックスイミング。乾選手を育て、チームを成長させる名コーチ井村雅代先生。実は大阪市生野区のご出身、生野高校、天理大学と進まれ、大阪府の教育委員も努めていただきました。比嘉悟先生のご紹介でご縁をいただき、ずっと応援をさせていただいている。



JFAアカデミー堺 1期生宝田沙織選手(ワシントンスピリット所属)が
女子サッカー、オリンピック代表に

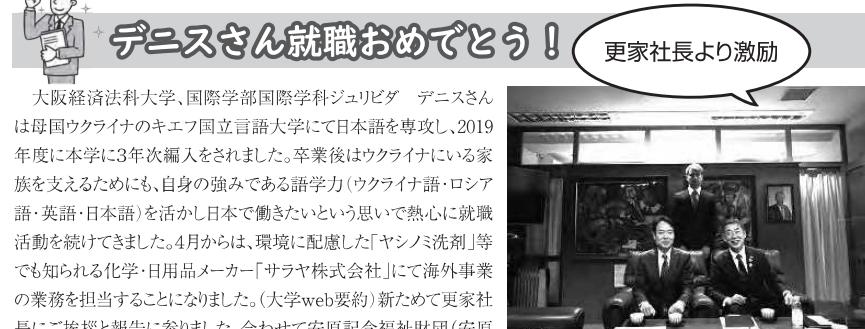
残念ながら予選リーグはチリに1勝のみ。ベスト8でスエーデンに力負けのなでしこジャパン。日本に引き分けたカナダが決勝でスエーデンに勝利して優勝という劇的なオリンピックでした。9月12日からは、女子サッカーもプロ化して、女子リーグが始まります。未来のなでしこジャパンを目指す選手たちを引き続き応援していきます。



セレッソレディースの試合



古川副会长より激励の花束2019年



更家社長から激励をいただきました

地域の力で希望者全員ワクチン接種へ



8/29生野モデルとして紹介された地域巡回ワクチン接種が2000人を超ました。8人のドクターと協力するスタッフが、電話もかからないネットは無理!のみなさんを地域の公民館で接種していただく取り組みです。写真は和さんこと中村DRと、いくのもりの活動を切り盛りする木村さんにに対する応援のセレモニー。生野区介護家族ゆとりの会からです。

